

【国立研究開発法人海上技術安全研究所】

新たな潜在労働力(女性、高齢者など)の造船現場への有効活用に関する研究

地域の潜在労働力に関する調査



各人材量(推計値)の調査

エリア	60歳～74歳人口 (高齢者)		無業者のうち家事を している者(専業主 婦)		非正規の職員・従業 員(パート・アルバイ ト)		農業従事者		若年無業者		製造業 就業者数
	人数(人)	比率 ^{注1)} (%)	人数(人)	比率 ^{注1)} (%)	人数(人)	比率 ^{注1)} (%)	人数(人)	比率 ^{注1)} (%)	人数(人)	比率 ^{注1)} (%)	
広島県	586,400	248	490,400	207	428,100	181	81,800	35	30,400	13	236,340
三原市	21,984	216	17,336	170	15,053	148	2,861	28	983	10	10,185
香川県	211,900	273	168,100	216	141,300	182	60,400	78	9,700	12	77,700
丸亀市	22,531	207	18,657	171	15,712	144	6,737	62	1,234	11	10,882
仲多度郡	11,961	224	8,961	168	7,520	141	3,210	60	522	10	5,333
愛媛県	305,600	308	245,700	248	200,000	202	71,900	73	13,900	14	99,099
今治市	39,559	247	28,896	181	23,490	147	8,417	53	1,628	10	15,995
佐賀県	166,400	269	123,100	199	119,600	194	50,500	82	7,500	12	61,803
伊万里市	11,137	175	8,231	130	8,025	126	3,403	54	521	8	6,346
長崎県	293,900	404	232,400	320	189,500	261	64,500	89	14,400	20	72,675
長崎市	91,795	445	72,240	350	58,533	284	19,786	96	4,858	24	20,634
佐世保市	53,715	445	42,682	353	34,776	288	11,827	98	2,974	25	12,083
西海市	6,763	258	4,938	188	4,070	155	1,401	53	297	12	2,624
熊本県	359,000	340	283,600	269	257,700	244	114,500	108	19,900	19	105,570
玉名郡	9,676	199	6,886	141	6,272	129	2,794	57	464	10	4,874
大分県	253,200	317	208,700	261	164,700	206	67,500	84	12,700	16	79,979
佐伯市	18,510	316	13,907	238	10,877	186	4,407	75	752	13	5,855
臼杵市	10,258	278	7,405	201	5,832	158	2,386	65	323	9	3,690

注1)各エリアにおける当該人材と製造業就業者数の比率(「当該人材数」/「製造業就業者数」にて算出)

各人材の就労、造船業に対する認識調査(WEBアンケート調査)

項目	高齢者 (60~74歳)	主婦(主夫)	パート・アルバイト	農業	ニート
就業可能性	△就業したい人あるいは転職したい人は23%。	○就業したい人あるいは転職したい人は87%。	・定職に就きたい、転職したいという人は47%。	△転職希望は25%。	○就業希望は93%。
現在働いている理由(複数回答)	・金銭的理由(80% ^{注1)} ○時間が余っているから(33%) ○生きがい・社会参加のため(25%)	—	○金銭的理由(106% ^{注1)} ・生きがい・社会参加のため(14%) ・時間が余っているため(12%)	—	—
仕事に求める価値(複数回答)	・お金を稼ぐこと(65%) ○自分の能力・経験を活かすこと(51%) ・人々・社会のために役立つこと(41%)	○お金を稼ぐこと(89%) ・自分の能力・経験を活かすこと(44%) ・自分の能力・経験を磨くこと(40%)	○お金を稼ぐこと(85%) ・自分の能力・経験を活かすこと(33%) ・自分の能力・経験を磨くこと(29%)	・お金を稼ぐこと(78%) ○自分の能力・経験を活かすこと(48%) ・自分の能力・経験を磨くこと(43%)	○お金を稼ぐこと(93%) ○人々・社会のために役立つこと(40%)
仕事に就くにあたって優先すること(複数回答)	○自分の能力が活かせる ・雇用の安定 ・長く勤められること ・賃金が高いこと	○雇用の安定 ・賃金の高さ ○職場の人間関係	○雇用の安定 ○賃金の高さ ・長く勤められること	○自分の能力が活かせる ・雇用の安定 ・長く勤められること	○雇用の安定 ・賃金の高さ ・職場の人間関係
造船業へのイメージ(複数回答)	○日本の代表的産業(58%) ・専門的な知識・技術がいる(50%) ・危険な作業が多い(48%)	・危険な作業が多い(50%) ・専門的な知識・技術がいる(39%)。 ※地域の造船所については、女性が少ない(36%)	・危険な作業が多い(42%) ・専門的な知識・技術がいる(36%) ・日本の代表産業(35%)	○専門的な知識・技術がいる(55%) ○危険な作業が多い(53%)	・専門的な知識・技術がいる(39%) ・日本の代表産業(37%) ・危険な作業が多い(34%)
造船業への就業の興味	△就業したい(26%)	・就業したい(44%) ※「簡単な仕事であれば」との回答が多い。	・就業したい(30%)	・就業したい(40%)	・就業したい(52%)
造船業での就業への期待	・安定した収入(33%) ・長く勤められる(25%)	○安定した収入(41%) ・長く勤められる(27%)	○安定した収入(35%) ・長く勤められる(25%)	○安定した収入(48%) △長く勤められる(13%)	○安定した収入(46%) ○長く勤められる(32%)
造船業での就業の不安	・仕事内容が自分に合っているかどうか(37%) ・仕事内容が難しい(27%)	・仕事内容が自分に合っているか(51%) ・仕事内容が難しい(50%)	・仕事内容が自分に合っているか(48%) ・仕事内容が難しい(41%)	・仕事内容が難しい(40%) ・仕事内容が自分に合っているか(35%)	○仕事内容が自分に合っているか(58%) ○仕事内容が難しい(54%) ○職場での人間関係(45%)

他のカテゴリより多い傾向を○、少ない傾向を△。

注1) 複数回答の設定の回答率を合計しており(金銭的理由=生活の維持、家計の足し、学費や娯楽費を稼ぐため)、100%を超えることもある。

【海技研】「各人材の就労、造船業に対する認識調査」の結果のサマリー



- 造船業が立地する地域では、少子・高齢化の影響が大きく、生産人口が大幅に減少する傾向にある。(第3回検討会(6月)で既に紹介、15～64歳の人口が2040年には5～6割へ)
- 造船業への就業に興味を持つ者は高齢者、専業主婦、パート・アルバイト層において26～44%程度存在。この割合と各地域における人材量(推計値)を掛け合わせた数を潜在的労働力と定義すると、潜在的労働力は、当該地域の製造業従事者数の3～9割程度となる。
- いずれの人材においても仕事に求める価値として最も高い回答割合を示したのが「お金を稼ぐこと」である。また、造船業での就業への期待としても「安定した収入」を挙げる者が最も多いことから、賃金の引き上げ等によって人材の確保が進むものと考えられる。
- 造船業の就労に対して「危険な作業が多い」、「専門的な知識・技術がいる」というイメージを抱く者が多い。このような先入観を解消するために、安全であることや適切な教育制度があることをアピールすることが有効。

調査結果のサマリー(つづき)

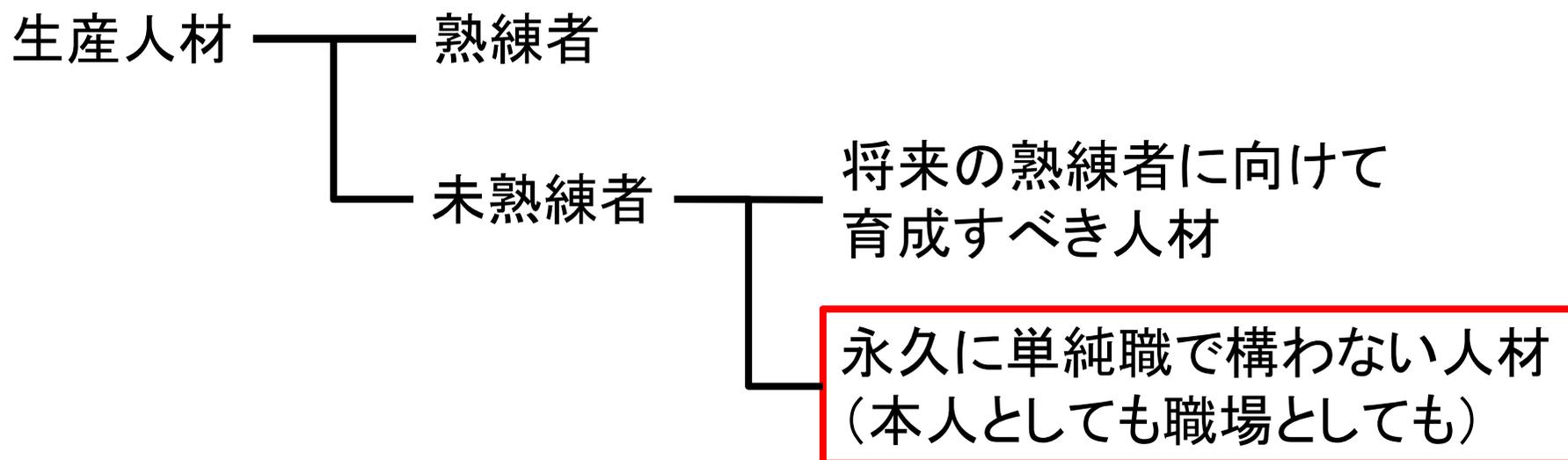
- **高齢者:** 高齢者層(60-74歳)の人口が最も多く、今後も高齢化は進展することが予測されるため、高齢者層の潜在労働力は更に増加。また、造船産業に対して「日本の代表的産業」という好印象を持っており、潜在労働力として期待が高い。仕事に求める価値として、自分の能力・経験を活かすことを重視。危険物取扱者や建設機械・大型車等の免許等を保有している人も多い。この点から、処遇面だけではなく業務内容とのマッチングも重要。
- **専業主婦:** 人間関係が良く、女性が多く働いている職場を希望する傾向がある。一方、造船業では女性が少ない職場というイメージを持っている割合が高い。まずは女性が働きやすい職場であることをアピールし、女性の社員数を徐々に増やしていく事によって更なる就業希望者の確保につなげることが有効。さらに、勤務時間への配慮や体力的な負担の軽減、安全面への配慮等、就労環境を整備していくことが望ましい。女性が働きやすい環境を整備する上で、子育てや介護、家事の都合を配慮したワークライフバランスへの配慮は重要。
- **パート・アルバイト:** パート・アルバイトの約7割は女性であるため、大まかな志向性は専業主婦と変わらない。若年層においては、正社員への転換制度や(正社員と同等の)研修制度を導入することによって中長期的なキャリアパスの形成に繋げ、就労のモチベーションを高める工夫が重要。
- **農業従事者:** 農業従事者の殆どは兼業農家であり、転職希望者の割合も低い(希望賃金は約1,500円/時間)。ただし、天候に左右される農業収入を安定化するための収入源確保へのニーズが高いと考えられるため、処遇面での条件が折り合えば潜在的労働力として期待。
- **若年無業者:** 就労への意欲が高く、安定した収入と長期間雇用に対するニーズが高いが、希望賃金は約1,100円/時間であり、最も低い部類に含まれる。また社会経験が少ない者が多い可能性があるため、就業前の教育訓練が重要と言える。例えば、地域の教育訓練機関等との連携による人材育成プログラムの提供も考えられる。

技能の濃淡に応じた新工程(HLM工程)

少子高齢化に伴う人材確保難への対応として、専業主婦、高齢者、フリーター等の非熟練・短時間・流動的労働者を積極的に活用する新概念の造船工程管理を研究する。

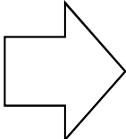
特に即効的な対応として、造船各職種の内容を、固有技能が必要な作業と不要な作業に分離、後者に非熟練・短時間・流動的労働者を割り当てるHLM工程管理手法(High & Low Mix ハイ・ロウ・ミックス)の開発に取り組む。

注:High & Low Mix は海上技術安全研究所の造語です。



HLM工程のキーコンセプト

下図に示す新たな視点で分業を計画・管理することによって、新規人材活用を図る。

従来の分業(職種単位)をこう見る  作業レベルに分解して再編する

